



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル
 〔会長〕竹尾 白 〔幹事〕橋口 徹 〔会報委員長〕松尾 博之
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2014-2015年度

第2474回



平成26年11月21日(金)点鐘12:30 《晴れ》

- ◆◆ロータリーソング『手に手つないで』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆◆お客様紹介

- ・ゲストスピーカー／公益社団法人鉄道貨物協会
総括次長 大野芳男様
- ・公益財団鉄道貨物協会 総務部 総務課長 菊池 登様

◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

鉄道貨物協会の大野様、菊池様、ようこそお越し下さいました。このあとの卓話、宜しくお願いいたします。

私は、昭和29年の3月に鹿児島島の錦江湾から漁船に乗って南西の魚釣島というところに行きました。懐かしく思っております。仲良くしていきましょう。

◆◆委員会報告

[親睦活動委員会より](#) (五十嵐博章委員長)

・11/18『CSRゴルフ会』報告

優勝: 鮫島永一会員 準優勝: 水野浩利会員

・『グルメ会』開催のご案内

日時 平成26年12月2日(火)18時30分～
会場 料亭「はるのや」

はるのやさんは、来年1月を以て長い歴史に幕を閉じることです。最後の老舗の味を是非ご堪能下さい。

[社会奉仕委員会より](#) (塩谷邦昭委員長)

ひかり学園の野菜販売協力金は、255,300円でした。皆様のご協力、有難うございました。今後とも協力の程、宜しくお願い致します。

[会員増強委員会より](#) (北原俊彦委員長)

会員60名体制を作ろうということで、特別会員増強委員会を設置。全会員に意識してもらい、いろいろ模索しながら会員増強に向けて働きかけたいと思います。

◆◆ニコニコボックス報告

《竹尾 白会長・橋口 徹幹事》

鉄道貨物輸送は、日本の経済活動の根源です。大野様の輸送の経験と知恵をご拝聴致します。

《江沢 一男会員》

大野さん、今日は宜しくお願い致します。

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	353,000 円
金の箱	320 円	累計	11,319 円

◆◆出席報告 (会員数50名)

出席者数35	欠席者数15	ピンター 2	修正出席率 64.0 %
--------	--------	--------	--------------

[千葉市内例会変更のご案内](#) [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	12/15・12/29	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	12/16・12/30	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	12/16・12/30	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	12/3・12/17	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	12/17・12/24	ホテルポートプラザがらば
千葉中央RC	木	12/18	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	12/11・12/25	京成ホテルミラマーレ

本日の卓話

演 題⇒『鉄道貨物協会の紹介と鉄道貨物輸送』

卓話者⇒公益社団法人鉄道貨物協会

総括次長 大野 芳男様



始めに、鉄道貨物協会の紹介をさせていただきます。当協会は、戦後の混乱の残る昭和25年10月に社団法人として設立され、平成23年11月に公益社団法人として新たに内閣府の認定を受けました。設立当初の目的は、鉄道貨物輸送に関する実証的な研究により、物資流通

の改善を図り、国民経済の伸長に寄与する事とあります。会員は現在約3,300名で、その構成は荷主企業、利用運

送事業者、貨物鉄道事業者を主に、協会の趣旨に賛同して頂いた方々も加わっております。本部を東京の神田に置き、支部は北海道から九州まで全国 18 カ所にあります。なお、千葉県の窓口は千葉支部となっています。理事長は、JR貨物、全国通運社長から来られた米本亮一で、名誉会長には東レ出身の経団連の榊原会長のご就任を頂いております。なお、当協会の歴代会長は、一度日本商工会議所の会頭がなられた以外は経団連からご就任をいただいております。

当協会の事業活動の目的は、輸送方法の調査研究や普及啓発の活動を行い、国民生活に不可欠な物資の安定供給と地球環境の保全を目指しています。鉄道貨物輸送をより良いものにしてその利用を推進していくという、いわば鉄道貨物輸送の応援団をしています。協会の本部の活動は大きく分けると4つありまして、調査研究を行っている本部委員会活動、エコレールマークの推進活動、会誌「マンスリーかもつ」の発行、貨物時刻表の発行などがあります。支部でも利用促進会議や企業見学会などを行っています。



写真はインターネットより

では、本部委員会活動についてですが、委員会活動には「利用促進委員会」と「輸送品質向上委員会」の二つがあり、利用促進委員会では、情報、環境対策、制度などのソフト面を、もうひとつの輸送品質向上委員会では荷擦れ・荷崩れ防止などのハード面の対策について、荷主企業等にヒアリングやアンケート及びコンテナ輸送の実体調査などを行い、これらを基に委員会で審議し具体的な対策の提案や提言を行っています。また、その成果として毎年度終了後に、本部委員会報告書を作成し、行政関係機関、公立や大学の図書館及び鉄道貨物輸送関係機関等約 1500 箇所へ寄贈しています。なお、この報告書は協会ホームページでもご覧いただけますので皆さんも是非ご覧になってください。

二つ目は、エコレールマークの普及活動です。ベルマークやエコマークは知っているがエコレールマークは知らないという方は多いと思いますが、このエコレールマークとはどういうものかと言うと、平成 17 年に国土交通省で制定された制度で、環境にやさしい鉄道で物を運んでいることを一般消費者に知って頂くための環境ラベルの一種です。マークは下の左のデザインのようなものです。真ん中は実際商品のパッケージに付けているもので、右側はコンテナに付けているものです。この他、認定企業では、名刺、会社の CSR、ホームページなどにエコレールマークを活用し、企業の環境への取組みをアピールしています。認定には、商品認定と企業認定及び協賛企業認定があります。エコレールマークの運営・審査委員により審査委員会を開催承認されます。当協会はエコレールマークの普及を推進するための事務局を行っています。現在、認定商品は 192 品目、認定企業は 83 件、協賛企業は 20 社の合計 295 件となっています。

では何故鉄道貨物輸送が環境にやさしいかと言いますとトラック輸送に比べて鉄道貨物輸送は CO2 排出量が 8 分

の 1 と非常に少ないためです。例えば、東京から大阪まで 10t の貨物を運んだ場合、CO2 の排出量の差は、皆さんがスーパー等で貰うレジ袋を 7700 枚製造する際に排出される CO2 の量と、ほぼ等しい数値となります。これを毎日一年間鉄道貨物輸送に変更すると、二酸化炭素の排出量が大きく削減することができます。船舶輸送に比べても少なくなっています。

これはエコレールマークが目指す循環型社会の図で、企業がエコレールマークを取得した商品を鉄道貨物輸送で運んで、その商品を消費者が選択して買って、エコレールマークの普及が広がれば、トラック輸送から鉄道貨物輸送に切り替わり、地球環境にやさしい社会が実現するというものです。

ではその認定基準はどうなっているかという、企業認定の基準は 500km 以上の輸送で、15% 以上の鉄道利用をしているか年間の利用数量が 15,000 トン以上または 1500 万トンキロであること、商品認定基準は 30% 以上鉄道を利用していることです。基準を満たしている企業から申請があれば、大学教授が委員長を努め、国交省などを含めたメンバーで構成するエコレールマーク運営・審査委員会で審議が行われ、認定を取得することができます。認定を取得した企業は、商品や段ボールにマークを印字したり、企業の CSR、パンフレット、名刺、ホームページなどでマークを活用し、消費者に対して環境保全に取り組んでいることをアピールすることができます。

当協会としても、このエコレールマークを一般の方々に知っていただくために、各地で行われる環境イベントや鉄道関係イベント及び大型スーパーのイベント等へも参加し、周知活動を行っています。また、小学校に出向いて小学生に直接エコレールマークを紹介する出張型教室も行っています。昨年度のイベントへの参加は約 40 箇所、出張型教室は昨年度新潟市の二つの小学校で行いました。今年度も川崎市の二つの小学校で行いますが、この他にも計画が進んでいます。また、このエコレールマークは平成 23 年と 24 年に熊本県の公立高校や広島県の県立中学校の入試問題に出題されています。

三つ目は、MONTHLY 貨物という会誌を毎月発行しています。全国の会員を中心に約 8000 部発行していて、協会の取組みや鉄道貨物輸送のモーダルシフトの実例や会員企業の紹介などを行っていて、貨物鉄道のことがいろいろな角度から紹介されていると好評を得ています。

四つ目は、貨物時刻表の発行です。日本で唯一貨物列車の時刻表の発行を当協会が行っています。年間約 2 万部発行していて、JR貨物の列車時刻は勿論、臨海鉄道や私鉄の貨物列車時刻も載っています。また、内容は鉄道貨物輸送の総合ガイドブックとしても使えるようにしています。また、本の後ろのページには貨物列車フォトギャラリーというコーナーを設けて沢山の貨物列車の写真を掲載しています。なお、この時刻表の写真は全部一般の方からの投稿写真を使っています。付録には、4 月から始まる卓上カレンダーと JR貨物の指令が実際に使っているダイアグラムの縮小

版を付けています。購入は全国で契約している40数店の本屋及びインターネットや郵便為替による申込でできます。

協会の取組は、この他講演会やセミナー、企業見学会や物流施設見学会、モーダルシフトの説明会など各種の催しも行っています。

次に、鉄道貨物輸送について紹介します。皆さんは当然貨物列車を見たことがあると思いますが、今回はいろんな角度から鉄道貨物輸送のことを紹介したいと思います。

まず、日本で鉄道貨物輸送を行っている会社はどこがあるかと言いますと、第一にJR貨物、それからご当地の京葉臨海鉄道のような臨海鉄道会社が10社、私鉄が3社あります。

JR貨物が唯一全国ネットの規模で行っていますので、その辺を少し詳しく紹介すると、JR貨物要覧2014によりますと、貨物取扱駅は全国で252駅で、日本全国を網羅する約8,300kmの鉄道網を使って、毎日約490本の貨物列車を運行しています。その一日あたりの運行距離は約19万5千kmで地球約4.8周半分に相当します。毎日これだけの運行を行っている訳ですが、JR貨物が保有している機関車は約690両、貨車は約7700両、コンテナは約64,000個で運用しています。もう少し補足すると、機関車は電気機関車とディーゼル機関車があり、金太郎、桃太郎などの愛称があるものもあり、子供達に人気があります。機関車の重量は一番重いもので約13.5トンもあります。また、最長運転列車は北海道の札幌貨物ターミナル駅～九州の福岡貨物ターミナル間で、約1,200kmを36時間56分で毎日運行しています。

それではここから少し、機関車や列車の画像を紹介します。

これが、先ほど紹介した金太郎の愛称が付いている、EH500形式機関車です。主に東北線、津軽線、海峡線などで運行しています。これが重量13.5トンあります。これは、桃太郎と呼ばれている、EF210形式機関車です。東北線、高崎線、東海道線、山陽線などで運行しています。これは、ディーゼル機関車で昔から頑張っているDD51機関車です。主に北海道内各線で運行しています。これは、レッドサンダーと言われるEF510形式機関車で、主に日本海縦貫線で運行しています。これは、ブルーサンダーと言われるEH210形式機関車で、主に上越線、高崎線、中央線などで運行しています。これは、佐川急便の貸切列車です。電車型車両で最速130キロで運行しています。東京から大阪の運転です。これは、福山通運の貸切列車です。これも東京から大阪の運転です。これは、貨物列車で新幹線車両の「秋田こまち」を運んでいるものです。これは、千葉県内でもよく見かけるとは思いますが、タンク車を輸送しているものです。

話が前に戻りまして、編成の一番長い列車は26両編成の列車で約550mの長さがあり、コンテナ130個の積載が可能で10トントラック65台分の貨物を一度に運べます。

では、どんな物を運んでいるかという、放射能のでものとか動物など一部を除いてコンテナに積載が可能なもの

であれば、生活物資から原材料までお客様の需要によってあらゆる分野の物を運んでいます。近年トラック業界では少子高齢化による労働力人口の減少や若者のきつい仕事に付きたくない、東京オリンピックの開催に伴う建設作業員の受給増加などの理由から、運転手不足が深刻な課題となっております。このようなことから、交通渋滞もなく時間に正確で大量輸送が可能な鉄道貨物輸送が見直されております。

次に、鉄道貨物輸送の仕組みについてですが、貨物の発から着までのコンテナ輸送の流れを簡単に説明すると、まず、発のお客様が発送を申込み、通運がトラックで集荷して貨物駅に持ち込みます。それを貨物駅でフォークリフト等でトラックから貨車へ積換え、貨物の発駅から着駅まで貨物列車で輸送し、着駅に着いたら貨車からトラックに積んで配達場所まで持って行きます。このように鉄道貨物輸送は、トラックの小回りが利く部分と鉄道の大量に性格な時間に輸送ができるお互いの長所が活かされています。近年JR貨物では、IT技術を駆使したシステムの更なる整備により、作業効率のアップとお客様への情報のサービ等が進んでおります。

これは、千葉県の貨物駅ということで、京葉臨海さんの千葉市にある千葉貨物駅、袖ヶ浦市にある京葉久保田駅、市原市にある玉前駅です。鉄道で発送したいというご利用のご用命がございましたら、京葉臨海鉄道の江沢さんにご相談をお願いいたします。

以上、鉄道貨物協会と鉄道貨物輸送についてご説明させて頂きましたが、皆様も環境にやさしい鉄道貨物輸送のご理解を頂き、鉄道貨物輸送の応援団になっていただけたら、会誌MONTHLYかもつを毎月無料で購読できるとか、貨物時刻表を割引で購入できるとか、講演会やセミナーなどの各種会合に参加できて、情報交換の場としても活用いただけますので、協会の趣旨に賛同いただける方なら、個人、法人を問わずどなたでもご入会いただけます。是非会員入会のご検討を宜しくお願い致します。皆様に会員募集のご案内もお配りしておりますので、会員の江沢さん経由または直接当協会にご連絡を宜しくお願い致します。最後に、協会の概要につきましては、お手元に配布しております「協会のご案内」に掲載されていますのでご覧いただきたいと思っております。また、エコルールマークの入ったナップザックも配布させていただいておりますのでご活用を宜しくお願い致します。



第2475回例会

日時⇒ 平成26年11月28日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『シチュエーションに応じた

声の出し方と表情の作り方』

卓話者⇒ フリーアナウンサー 袴田 実有子様

第2476回例会

日時⇒ 平成26年12月5日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 会員ミニ卓話